

情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

(単施設研究用)

西暦 2022年4月1日作成 第1.2版

研究課題名	Diamondback 360 Coronary Orbital Atherectomy System に関するコホート研究
研究の対象	2018年4月1日～2024年3月31日の間に、著明な冠動脈石灰化の石灰化切削のために Diamondback 360 Coronary Orbital Atherectomy System を用いて冠インターベンション治療を受けた冠動脈疾患患者さん。
研究目的・方法	冠動脈の石灰化は動脈硬化により発生しますが、冠インターベンション治療(冠動脈ステント留置術など)におけるその石灰化はいまだに悩ましい問題があります。石灰化部は硬いためにステントなどの拡張が不十分となることがあり、石灰化切削が事前に必要であります。従来はロータブレードという先端の前面のみにダイヤモンドチップが付いた器具で石灰化を切削する方法しかありませんでしたが、近年は Diamondback 360 Coronary Orbital Atherectomy System という先端の両面にダイヤモンドチップが付いた器具で切削する方法があります。本研究の目的は冠動脈の石灰化切削について Diamondback 360 を用いた場合に、切削効果を通常の治療の過程においても使用する光断層撮影や血管内超音波の画像データを用いて断面積計測や石灰化への割入の有無など詳細に検討すること、その後の臨床的経過と合わせて検討すること、また Diamondback 360 の中においても先端形状の違いなどがあり、それらによる通過性の違いなどを臨床的経過と合わせて検討すること、になります。カルテから採血や画像所見、臨床的経過などのデータを収集いたします。
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2028年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	採血結果、心電図所見、心エコー図所見、冠動脈造影所見、光断層撮影や血管内超音波検査による画像データ、臨床的経過(予後)

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9
横浜市立大学附属病院 循環器内科 (研究責任者) 川浦 範之
電話番号：045-787-2800(代表)